時事新報

第三千二百七十二號
明治廿五年二月廿三日　火曜日
舊曆壬辰正月廿五日（乙、酉）
日出午前六時二十一分　入午後五時二十九分
月出午後二時二十六分　入午前十一時五十七分
滿潮午後　午前零時三分
（西曆一千八百九十二年）

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には毎號詳細なる商況物價の報告あり

時事新報定價●
時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜休刊
〔〇時事新報社より直接に遞送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ遞送料ヲ申受ク〕●

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一回	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿れ付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填塞するより各社同一の記事を掲ぐること寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依賴せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

超然主義は根底より壓す可し

政府が超然主義と稱して都て政治上の爭に關係せず民間の反對者より如何なる攻撃を受るも恬として知らざるもの〻如くなるは甚だ得策に非ずとの次第は我輩の毎度論辨したる所なれども今日に至りても當路の人々は尚ほ依然として退讓蟄居の舊慣を守り在野民黨の一類が青天白日口を極めて政府を攻撃するにも拘はらず是等の反對論を排撃して我主義を發表せんなど〻の念慮はなきもの〻如し如何にも解す可らざる事共なり或は當路者の方寸を推察するに近來世間に政府を非難するの聲餘りに喧しければ斯る矢先きに向て我より進撃を試み自家の主義を辯護して反對者を壓倒せんとするも勝算覺束なきが故に言論の爭は姑く思ひ止まり唯法律の範圍內に運動して治安を防禦し苟も社會の秩序を紊り安寧を害する者あれば法に從て之を罰するのみにして政論上の成敗は之を自然の成行に任ずるの意ならんか左りとは策の得たるものと云ふ可らず今の政府が不人望にして民間に敵對の者多きは事實に相違なしと雖も其不人望の原因を尋れば昔年の失策にして今日の施政上に於ては特に國家の不利を行はざるのみか國會開設以來は行政の區域次第に縮少して興利の運動さへ自由ならざる程の有樣に陷り實際を直言すれば誉るにも足らず又譏るにも足らざるものにして唯その缺典を云へば大小の官吏輩が時勢を知らずして獨り自から尊大に構へ官途の小天地に得々として廣く民情を偵ふたるのみのことなれば今にも其非を悟りて心事を一轉し在野中等以上の士人を求めて交るに君子の道を以てして知見を博くし又自から公衆を相手にして演說し新聞紙を利用して議論し世間を憚らず怨れずして宿昔信ずる所の意見を吐露したらんには天下の人心も今は前度の議會を見て多少は失望の樣子ある折柄或は政府の主義方針の在る所を悟りて之に同意する者も多かる可し唯目下の形勢を一見するのみにして民間に反對の議論盛なればとて決して落膽するに及ばざることなり若しも當局者が此邊に思ひ至らずして多年の舊慣に慣れ一身の虛榮虛威に戀々して却て政權維持の大義を忘却し社會公衆に向て動かず語らず人をして其意思の在る所を窺ひ得せしめざるときは人民の政府に對する感情は唯益々不昧を增すのみにして幾年を經るも政府の爲めに眞實なる味方を得るの望はある可からず眞實の味方を得ざれば行政の區域は次第に縮小して國家の大利害に關する事と知りながらも之を處するの運動自由なるを得べからず是に於てか政府も情に堪へずして怒を發し俗に云ふ疳癪を起して所謂斷然の處置に出ることなきを期す可らず即ち直に兵力を用るに非ざれば警察の力を利用して民議を壓倒することなり扨その場合に至りて事の局部を一見すれば民議不當なるが故に力を以て之を壓したるまでの事にして罪は人民に在るが如くなれども其人民をして罪を得せしめたるは立憲政體の政府が自から好んで言論と名くる大利器を放棄し自家正當の防禦を忘れて政權維持の大義を思はず遂に民議を恣にして分外に逸するを傍觀したるが爲めなりと云ふ可し經世家の事に非ざるなり右の次第なるを以て我輩は政府の爲めに謀り愈よ超然主義を廢し言論以て在野の反對者と爭ふことならば或は大に同意者を得て有力なる黨派を組織することを得るならんと信ずるものなり知らず政府は果して今日政府黨を樹立するの覺悟ありや否や

官報

〇正誤　去ル十日文部省令第一號第十條四行詰求ハ請求ノ誤植

〇內務省告示第十一號

駿河國靜岡市呉服町四丁目二番地平民　酒井源五郎發行
一恨みの太刀風
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス
明治二十五年二月二十二日　內務大臣子爵品川彌二郎

〇遞信省告示第四十二號

來三月一日ヨリ左ノ郵便局ヲ郵便電信局トシ其事務ヲ取扱ハシム
但出雲國杵築郵便電信局ニ限リ當分ノ內歐文電報歐字及亞剌比亞數字ヲ插入シタル和文電報ハ取扱ハス
明治二十五年二月二十二日　遞信大臣伯爵後藤象二郎

國郡名	舊稱	新稱
武藏國兒玉郡	兒玉郵便局	兒玉郵便電信局
武藏國榛澤郡	深谷郵便局	深谷郵便電信局
武藏國[illegible]郡	寄居郵便局	寄居郵便電信局
武藏國[illegible]郡	大宮郵便局	大宮郵便電信局
紀伊國南牟婁郡	木ノ本郵便局	木ノ本郵便電信局
出雲國[illegible]郡	杵築郵便局	杵築郵便電信局
備前國兒島郡	味野郵便局	味野郵便電信局
備中國上房郡	高梁郵便局	高梁郵便電信局
美作國大庭郡	久世郵便局	久世郵便電信局
美作國眞島郡	勝山郵便局	勝山郵便電信局
豐後國南海部郡	佐伯郵便局	佐伯郵便電信局
肥後國山鹿郡	山鹿郵便局	山鹿郵便電信局
肥後國合志郡	大津郵便局	大津郵便電信局
肥後國葦北郡	佐敷郵便局	佐敷郵便電信局
肥前國北松浦郡	平戶郵便局	平戶郵便電信局
能登國羽咋郡	羽咋郵便局	羽咋郵便電信局
佐渡國加茂郡	夷郵便局	夷郵便電信局
信濃國南安曇郡	豐科郵便局	豐科郵便電信局

〇遞信省告示第四十三號

本月二十九日限リ武藏國榛澤郡深谷鐵道停車場電信取扱所ノ公衆電報取扱ヲ廢止ス
明治二十五年二月二十二日　遞信大臣伯爵後藤象二郎

雜報

〇伯林に於ける日本美術展覽會　日本赤十字社の特別名譽社員獨逸人男爵アレキサンドル　シーボルド氏は客年十月愛知、岐阜の兩縣下に於ける震災者救濟のため伯林府に於て有志諸氏と謀り日本美術品を以て慈善展覽會を開き其收得金を同社へ寄贈する旨を此程佐野同社長の許へ申越したりと

〇チユーリヒ府商工業の景況（昨日の續き）抑も生絲を消費し織物、綿絲を製造するはチユーリヒ近傍を最とす而して當チユーリヒ府は歐洲中央大生絲市場の一にして千八百九十年中同府生絲檢査所を經由せし高百九萬九千三百一基にして內歐洲絲四十二萬三千二百二十四基即ち百分の三八、五〇亞細亞絲六十七萬六千七十七基即ち百分の六一、五〇とす今之を國別すれば

日本 二七二、六八三基	佛蘭西 一、七六三基	伊太利 四二二、四六一基	東方部 五、七〇〇基
[illegible] 一七、四〇五	支那 三七九、七一六	其他 五七三	

合計一、〇九九、三〇一

又其價格（一基ニ附キ）ヲ各種絲ニ區別スレハ

	千八百九十年始	同終	最高	最低
日本信州　自	五七、〇〇〇法	四七、〇〇〇法	五七、〇〇〇法	四七、〇〇〇法
至	五一、〇〇〇	四二、五〇〇	五一、〇〇〇	四二、五〇〇
支那絲「タスレー」	三四、〇〇〇	三三、〇〇〇	三七、五〇〇	三一、〇〇〇
「カヒン」百合花	三〇、〇〇〇	三七、〇〇〇	三九、〇〇〇	三六、〇〇〇
白「カロン」	三三、〇〇〇	三二、〇〇〇	三五、五〇〇	三一、〇〇〇
黃「ワーシー」	三四、〇〇〇	三三、〇〇〇	三五、五〇〇	三二、〇〇〇
「レンチユー」	二八、〇〇〇	二九、五〇〇	三二、五〇〇	二六、五〇〇

歐洲中生絲市場の最大なるものは佛國里昂にして次は伊國ミラン次は當チユーリヒ府にして假に日本絲一基の價を十圓とするも大凡三百萬圓は該府市場を經過する割合なり
チユーリヒ近傍製絹場の大なるものは皆水力に依れる機械を用ひ其製出せるものは概ね下等品にして地厚の上等品は如何なる大製造場と雖も悉く手工に委ねざるなし其他各戶一二の機床を設けて織物を爲す者甚だ多し
當國輸出入の生絲は大約馬爾塞港を經由するが故に日本輸出表幷に當國政表の記する所は實際に於けるよりも其高甚だ少し現に千八百九十年の統計表に據れば[illegible]外國人遊覽の地到る處販賣せざるなく輸出品中西方[illegible]佛蘭西部なる[illegible]高毎年數百萬に達すと云へば日本が瑞西國に輸出す貿易上の關係は殆ど獨、墺國に比して劣るものにあらず實に前途の望あり殊に[illegible]大學の如きは頗る見るべき[illegible]きを信ず
既に述ぶるが如く當國は水力を利用するに巧なるものなるが倘ほ近來高處の水源と管とを通じて水力を分[illegible]口を見て大に處する所ありしが本邦に於て右等の地

を發見するは容易の業にし
みと實に少からざるべし

〇京神間汽車の乘客及收入金
橫濱京都神戶間の乘客荷物の
入表に於て明なる事實なりし
曾長良の兩鐵橋を始め愛知岐
破損したるより今尙ほ東西相
の減少は勿論京坂神間より名
は已前に比しては殆んど皆無
京神間に徃來する內外中已上
國人の乘車する者も多くは下
に收入に非常なる減少を來し
きは一昨年の此頃は一日間の
たりしも本年は一千圓の收入
云ふ

〇大坂の株と金融　議員總選
るも第三期帝國議會に於て鐵
すべきやは豫想し難き處ある
於ける賣買取引の景況は諸鐵
模樣なるも獨り活潑なるは紡
震災後不振の姿ありし浪花紡
て震災の當時五十圓拂込にて
居たるに此頃頂上四十四圓
紡績株も低直九十圓內外なり
に攝津紡績株二十五圓拂込低
滿紡績株二十八圓七十錢が四
り斯くの如き騰貴は他の株の
買に全力を致せしも一因なら
況の漸く回復せし機に乘し紡
が故ならんと云へり又同地金
ず緩慢にて銀行交換日步は漸
して更に運轉の付かざる姿あ
震災地に下附ありたる七百萬
にて追々大坂に流入する模樣
益々緩慢を告ぐるの形狀あり
の運轉方に心を苦しめ居ると

〇京都府の出品數　來る二十
開設する萬國博覽會へ京都府
品農產物等の總數は千八百六
百一顯二十四才、原價は二十
五錢四厘なり又其種類は屛風
刺繡、陶器、漆器、美術金屬器、
品、撚絲、絹織物、縮緬、　裝飾
畫、織物壁畫、製本、造營雛形、
生絲、茶、繭等なりと云ふ

〇華盛頓の誕辰　昨二十二日
辰日に當るを以て目下橫濱に
ンアリアンス英國軍艦マーキ
旗を掲げ正午十二時には二十
を表したるが爲めに米國領事
云ふ

〇大谷木備一郎氏の葬儀　本
病死したる前代議士法學士大
く執行の筈なりしも恰も全國
暫時延引したるが昨日午前十
邸より遺骨を同錦町なる寓京
々の準備を整へ午後一時出棺
於て其式を行ひたり當日の遺